

<2013.6.12 拉致問題特別委員会>

○はたともこ君 生活の党のはたともこでございます。岸田外務大臣に順次質問をさせていただきます。

拉致問題解決のためには、同盟国である米国は当然として、中国、韓国の協力が不可欠だと思いますが、まずは大臣の御見解を伺いたいと思います。

○国務大臣(岸田文雄君) 拉致問題ですが、我が国の主権及び国民の生命、安全にかかわる重大な問題であり、拉致問題の解決なくして国交正常化はあり得ないと考えております。安倍内閣におきましても、この断固たる決意で取り組んでいきたいと考えているところですが、その拉致問題の解決におきまして、拉致問題を含むこの北朝鮮問題に関しまして、御指摘のように日米、そして日米韓、そして中国を含む関係国との関係、大変重要であると認識をしております。

今後とも、こうした日米韓、さらには中国を含む関係国との連携はしっかりと大事にしなが、北朝鮮に向けて強いメッセージを発していかなければならないと考えています。連携を大事にしなが、この問題にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

○はたともこ君 現在の情勢では、日中、日韓の外相会談、さらには日中、日韓の首脳会談の開催はなかなか難しいようですが、今後の開催の見通しについて大臣に教えていただきたいと思ひます。

○国務大臣(岸田文雄君) この日中、そして日韓の間には大変難しい課題が現状存在いたします。そして、政治レベル、高い政治レベルでの対話というものが今行えない、こういった状況にあります。

しかしながら、日中関係、日韓関係、この二つの関係は我が国にとって大変重要な隣国との二国間関係であります。そして、今申し上げましたように、北朝鮮問題においても、こうした国々との連携は重要だと考えています。

我が国は、基本的には対話のドアは絶えずオープンにしているということを再三強調しているわけですが、今こうした対話に向けてまずは具体的な課題を通じて様々な対話を積み重ねております。日中韓FTA交渉、これは実際交渉がスタートをしております。また、第一回目が行われ、そして今準備会合も予定されております。また、先日は日中韓の三国の間で環境大臣会合も実施をされました。また、先日はシンガポールのシャングリラ防衛大臣会合におきましても、これは日米韓ですが、こうした大臣の会合も設けられましたし、日中間においては防衛当局間で実務者協議が行われている。こうした状況にあります。

是非、こうした具体的な課題における様々な意思疎通をしっかりと積み上げなが、この政治レベルでの対話につなげていきたいと考えております。

○はたともこ君 では、いわゆる河野談話、また村山談話についての岸田外務大臣の御見解を伺いたいと思ひます。

○国務大臣(岸田文雄君) まず、村山談話についてですが、我が国はかつて多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な被害と苦痛を与えました。この認識において、この安倍内閣は歴代内閣の立場を引き継ぐ考えであります。私も、安倍内閣の一員としてこうした立場を大事にしていきたいと考えております。

そして、河野談話につきましては、これまで歴史の中で多くの戦争があり、そしてその中で多くの女性の人権が侵害をされてきました。是非、二十一世紀はこの人権侵害のない世紀にしなければいけない、こうした思いで外交においても今私自身全力で取り組んでいるところであります。

慰安婦問題につきましても、あの筆舌に尽くし難いつらい思いをされた多くの方々の思いにこの思いを巡らすときに、非常に心が痛む、こうした思いにつきましても、安倍内閣においても歴代内閣と思いを共有しております。私自身も、そうした思いでしっかりと内閣の一員として職務を全うしたいと考えております。

○はたともこ君 私は、我がふるさと広島県の先輩である岸田外務大臣こそ、日中・日韓外相会談、また首脳会談の開催を実現できる外務大臣であるというふうに変大期待

をしているわけでございます。日中、日韓の外相会談、また日中、日韓の首脳会談開催に向けての大臣の御決意を伺いたいと思います。

○国務大臣(岸田文雄君) 日中関係につきましては、我が国にとりまして最も大切な二国間関係の一つであると考えています。そして、日中両国、世界第二の経済大国、世界第三の経済大国、この二つの国の関係が安定していることは、二つの国の国民にとって利益であるのみならず、この地域、国際社会の平和と安定にも大きく影響してくる問題であります。日中両国は大きな責任も担っていると考えています。個別の問題は存在いたしますが、この大切な二国間関係に影響を及ぼさないように、大局的な見地からコントロールしていかなければならない、戦略的互惠関係の原点に基づいて冷静に毅然と対応していかなければいけない、我が国のこの日中関係における方針は以上申し上げたとおりであります。

そして、日韓関係におきましても、これは我が国は基本的な利益や価値を共有する大切な隣国だと韓国を思っております。是非、未来志向でこの大切な隣国関係を進展させていかなければならない、このように思っております。

こうした大切な日中関係、日韓関係、この二つの関係において、おっしゃるような高い政治レベルでの意思疎通、大変重要だと考えております。そのために、先ほども申し上げましたような様々な具体的な課題において意思疎通を図っているわけですが、是非しっかりと政治レベルでの対話が実現するための環境整備をしっかりとつくっていきたいと考えております。

○はたともこ君 では、時間ですので最後に申し上げたいと思います。

拉致問題解決のためにも、我が国の主権、国民の利益を踏まえつつ、米国との信頼関係に基づく同盟関係の再構築、中国、韓国との安定した相互関係の確立、全ての世界の国々とのウイン・ウインの関係を築いて、日本と世界の平和と安定を実現する最大の交渉力を持つ政治家は、我が生活の党の小沢一郎代表をおいてほかにはないということを申し上げまして、私の質問を終わりたいと思います。

ありがとうございました。